

世界の潮流についていこう！ 婦人科がん診療 2024

企画者のことば

松村謙臣

最近、婦人科がんにおいて免疫チェックポイント阻害薬や抗体複合体薬を中心に、活発に臨床試験が行われるようになり、その診療が大きく変わろうとしています。そして新型コロナウイルス感染症の流行を契機に製薬企業による Web セミナーが頻繁に行われるようになったため、新規に保険承認となった薬剤については情報が得られやすくなっています。しかし、欧米で行われた臨床試験で有用性が証明され承認されている薬剤であっても、わが国では未承認の場合、製薬業界の規制のために情報が得られにくいという問題があります。本特集では、海外では導入されつつあるものの、わが国で保険未承認だったり、一般には行われていなかったりする診療を中心に取り上げて、エキスパートの先生方に執筆していただきました。

本特集号が、読者のみなさまにとって、激動の時代を迎えつつある婦人科がん診療における世界の潮流にキャッチアップするために役立つものになれば幸甚です。